

医薬品を正しく購入するための
説明文書

使用前には必ず添付文書を読んで下さい

Ovulation test
Check
One LH・II

チェックワン® LH・II 排卵日検査薬



チェックワンLH・IIは、排卵日を前もって予測する検査薬で、最も妊娠しやすい時期の推定に役立ちます。 避妊の目的では使用できません。

【全般的な注意】

- 本キットは体外診断用医薬品であり、避妊目的に使用する等、本キットの目的以外には使用しないでください。
- 本キットは尿中LHの検出の目的のみに用い、確定診断は専門医の臨床所見に従ってください。

【試料の採取法】

- 検体には新鮮な尿試料を用いてください。
- 血液、膿、その他異物による汚染のひどい尿は使用しないでください。
- 尿を容器に採取する場合は乾いた清潔な容器に採取し、採尿後は速やかに検査してください。

用法・用量 (操作方法)

1. 検査開始日

LHは下垂体前葉より分泌される糖蛋白ホルモンで、成熟卵胞に作用し排卵を誘発します。

尿中のLHサージは最も妊娠しやすい時期を知るパラメーターとして最も信頼性が高いとされており、通常卵胞期後期よりLHサージが認められ、この時期のLH濃度は40IU/L以上といわれています。本キットでは、LH濃度40IU/Lより検出可能です。このLHサージが認められてから約24～36時間以内に排卵が誘発されることから、本キットを正しく使用するためには検査開始日を正確に決めることが大切です。本キットの検査開始日は下の表により決定してください。

月経周期(日)	21以下	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41以上
月経開始日から数えて何日目にテストをするか	5	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	月経予定日の17日前



- 月経周期は、月経第一日目より数えて次の月経開始日前日までの日数をいいます。
- 月経周期が不規則な場合には最も短い月経周期に基づき決定してください。
- 検査開始日からLHサージを確認するまで(陽性と判定するまで)、1日1回連続して検査してください。

※検査開始日の求め方の例

1回の月経周期のうち、わずかな時間しかあらわれないLHサージを、できるだけ見逃さないために、あなたの平均的な月経周期をもとに検査開始日を正しく求めてください。

● 月経周期の求め方は？

<月経周期の求め方の例>

前回の月経開始日: 7月7日
 今回の月経開始日: 8月3日 → 7月7日から今回の月経開始日前日の8月2日までの日数を計算
 =27日(月経周期)

日	月	火	水	木	金	土
				月経開始日		
		1	2	3 第1日目	4	5
6	7	8	9	10	11	12 検査開始日 第10日目

● 検査を始める日は？

例えば、月経周期が27日で月経が3日から始まった場合、上の表より(★印)月経第1日目である3日から数えて、10日目に検査を開始します。この場合検査開始日は12日になります。

2. 試薬の調製方法

チェックスティックはそのまま用います。

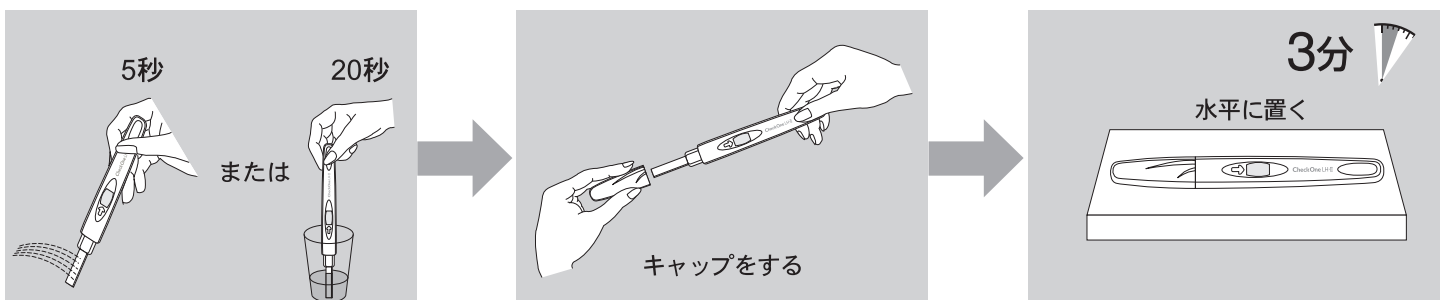
3. 必要な器具・器材・試料等

- タイマー又は時計
- 尿採取用容器(乾いた清浄なもの:尿を直接尿吸収体にかけない場合)

4. 測定(操作)法

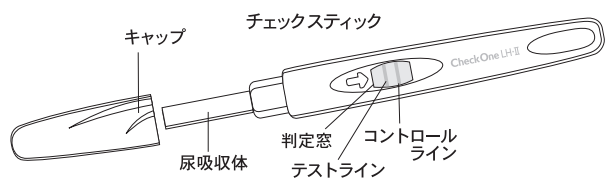
朝・昼・夜いつの尿でも検査可能ですが、毎日ほぼ同じ時刻の尿で1日1回、陽性があらわれるまで検査を続けてください。

- ① アルミ袋から、チェックスティックを取り出します。
- ② チェックスティックの付属のキャップをはずし、尿吸収体を下に向け、尿を5秒間かけるか、清潔な容器に採取した尿中に尿吸収体を20秒間浸してください。
- ③ チェックスティックにキャップをし、平らなところに3分間静置してください。



【測定結果の判定法】

- 尿をかけてから20分以内に判定してください。
- チェックスティックの判定窓のテストライン(矢印に近いライン)とコントロールライン(矢印から遠いライン)の青色の有無及び濃淡を比較して判断してください。



スコア	1	2	3	4
判定窓				
判定	陰性 (-)		陽性 (+)	

陽性:

テストラインの青色の濃さがコントロールラインと同じか、濃い場合は陽性と判定してください。

陰性:

テストラインが認められないか、テストラインの青色の濃さがコントロールラインより薄い場合は陰性と判定してください。

- 検体濃度5IU/L付近から、テストラインに呈色が見られることがあります。
- LH濃度の目安として、スコア2で10IU/L付近、スコア3で40IU/L付近であり、カットオフ濃度の40IU/L付近において、判定者間で判定の判読差異が起こることがあります。
- 実際にあられるラインの色・形は例示と異なる場合があります、LH濃度は、あくまでも目安です。
- 判定上の注意
 - ・ コントロールラインがあらわれていることを確認してから判定してください。
 - ・ 判定は、判定窓に認められているコントロールラインとテストラインの青色の濃さの比較によって行ってください。
 - ・ 判定窓にコントロールラインが認められない場合は、尿吸収体にしみこませた尿が少なかったこと等が考えられますので、別のチェックスティックを用いて検査をやり直してください。

保健衛生上の危害を防止するために必要な事項

1. 使用上の注意

- 本キットは尿中LHの検出(定性)試薬であり、定量目的には使用しないでください。
- 本キットを分解しないでください。
- 本キットを直射日光や熱にあてないでください。
- 本キットは室温で保存し、外箱の表示の使用期限内に使用してください。
- 使用期限を過ぎたチェックスティックは使用しないでください。
- アルミ袋は使用時まで開封しないでください。
- 操作手順は「**用法・用量**」(操作方法)に従って行ってください。
- 判定窓を尿やその他の液体で濡らさないでください。

2. 廃棄上の注意

- 使用後のチェックスティックは、廃棄物に関する規定に従って処理してください。

3. 診断上の注意

- 次のような場合、LHサージが検出できないことがあります。
 - ・ 月経周期が不規則な場合
 - ・ 検査開始日を間違えた場合
 - ・ 分泌されるLHが低濃度の場合
 - ・ LHサージが極端に短期間で終了する場合
 - ・ 大量の水分摂取により、尿中LHが希釈された場合
- LHサージでなくても、次のような場合結果が陽性となることがあります。
 - ・ 妊娠している場合
 - ・ 分娩後・流産後・人工妊娠中絶後の場合
 - ・ hCG産生腫瘍の場合
 - ・ 胎状奇胎等の異常妊娠の場合
 - ・ 不妊治療の薬物療法時(特にhCG製剤投与時)
 - ・ 内分泌障害の場合
 - ・ 閉経期の場合
 - ・ 尿が過度に濃縮されること等により尿中LH濃度が高くなった場合等

Check One LH・II

妊娠しやすい

排卵日

を約1日前に
スピードチェック

チェックワンLH・II 排卵日検査薬

● わずか3分で判定

● 尿を5秒かけるだけ

● ラインが比較しやすい大きな窓



効能・効果

尿中の黄体形成ホルモン(LH)の検出

[キットの構成]

チェックスティック

成分・分量 (チェックスティック1本中)

マウスモノクローナル抗 β -LH抗体結合青色ラテックス粒子	14.6 μ g
ウサギポリクローナルIgG結合青色ラテックス粒子	5.57 μ g
マウスモノクローナル抗 α -LH抗体	1.2 μ g
ヤギポリクローナル抗ウサギIgG抗体	0.48 μ g

[検出感度]

40IU/L

[貯蔵方法]

室温保存(1~30℃)

直射日光、高温及び多湿な場所を避けて保管してください。

[有効期間]

24ヵ月(使用期限は外箱に記載)

[包装単位]

1箱5回検査用 1箱10回検査用

薬剤師が必要と判断する事項

店名

薬剤師印

[注意事項]

- 1.本紙の内容は、お客様が医薬品を購入・選択時に、役立たせるために必要な情報です。
- 2.使用後、何かお気づきの点がございましたら、購入された店舗の薬剤師にご相談下さい。

〈チェックワンLH・IIの検査に関するお問い合わせ先〉

チェックワンLH 相談室 TEL 052(962)2203

〒460-0002 名古屋市中区丸の内三丁目2-26

受付：9:00~16:30(土・日・祝日を除く)

ARAX 株式会社 アラクス
〒460-0002
名古屋市中区丸の内三丁目2-26